



## 西大寺 JC REPORT

「1年を振り返って」

第49代理事長 石井 亮



2009年度、第49代理事長として「Take a Glory」をスローガンに1年間やってまいりました。本年度は、理事長として本当に数多くの貴重な経験と出会いをさせていただきました。かけがえのない財産となる1年を送ることができました。それと同時に、青年会議所理事長の責任の重

さをも感じた1年でもありました。今年1年、色々なことと思い、悩みながらも明るい豊かなまちづくりを行うことができたのも、現役会員の皆さん、そして特別会員の皆様、また地域団体の皆様の御協力あつてのことだと思っております。皆様方には心より感謝する共に、今後とも(社)西大寺青年会議所に對しまして尚一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。1年間本当にありがとうございます。

「1年を振り返って」

直前理事長

花島 功一



今年1年、石井理事長を支えまた、他のメンバーを影で支えるべく頑張っていました。平成20年1月1日に入会して以来、はや2年間が過ぎようとしています。思い起こせば最初の1年目の委員会が地球ふるさと委員会、こりとり場警備を任せられたとてつらい思いをしたことが、つい昨日の事のように鮮明と浮かんできます。

それから7年間は、何もその運動はせず他のメンバーには大変ご迷惑をおかけ致しましたこの場をおかりいたしましたとお詫び申し上げます。そんな私にも転機まいりました、その一言とは2009年の中村千晃先輩が理事長をするときに

『1年未満のメンバーに理事をさせるんか!』と言われ、始めて委員長をうけ2007年には副理事長2008年には理事長そして本年度2009年は直前理事長、全国青年会議所建設部会岡山ブロック会長、岡山ブロック協議会副会長と自分の器以上の事をさせて頂き本当にありがとうございます。これも一重に石井理事長を始めとする現役メンバーの皆様、幹事そして何もその運

動をしていなかっただにもかわらず退会させず見守って頂いた特別会員の先輩方のおかげだと思えます。重ねて御礼申し上げます。ありがとうございます。最後に2009年度 外部監事として、メンバーのお目付役としてがんばる所存ですの

#### 専務理事 小川大志



本年度、石井理事長のも

と専務理事という役職を一年間させて頂き、とても多くの事を学び、そして経験をさせて頂きました。昨年末までは、ブロックの事業などに出席しても知合いも少なく、出欠の返事をするのにも躊躇することが多々ありました。

しかし、専務理事という役職は、理事長におともするという重要な役割があります。理事長をお引立てするということも専務理事の重要な役割と捉え、一年間頑張らせていただきました。ブロックの事業や会員会議所などに幾度も出席するうちに、知り合いも増え、気づいた時には理事長のおともが楽しみになっていて自分分が気がつきました。

年始は、自分が本当に専

務理事という職を全うできるのかという不安もありましたが、専務理事を前年にされていた石井理事長、「〇〇」メンバーに助けて頂きながら、なんとか無事に本年度が終わりそうです。しかし、担当であった総務委員会は、中山委員長がしっかりとしている事を良いことに、任せつきりになってしまった点は反省しております。

本年度の専務理事としての〇〇運動は、〇〇の三信条である修練・奉仕・友情というのを「〇〇メンバー」だけでなく、他「〇〇」の方とも感じる事が出来ました。これは今後の自分にとって大きな価値となりました。来年は創立〇〇周年を迎えるにあたり、更に〇〇運動に、そして自分磨きに邁進してい

きます。

1年を振り返って

副理事長 坪井綾広



本年度は初めて地球市民委員会担当の副理事長という大役を任せられました。果たしてその担いを全う出来たかどうかは、二つの場所に於いて考えられると思います。一つ目は委員会の“組織”が1月当初よりも、結束が強くなっているか、委員会の資質・JC運動に

対しての意識が向上しているか。二つ目に委員会が行なった事業に対し“地域の方々から”信頼、期待される事業をリード出来たかどうか。答はここにあるように思います。

一つ目については、間違いなく良い結果が残せたと思います。赤木委員長の素晴らしい活躍や、来年の創立50周年記念事業を考えて行く上で意識的に結束ができ、団結が強くなったように感じます。これは担いの一つとして、役割を果たせた証拠ではないでしょうか。

二つ目はどうでしょうか？私を含め委員会メンバーの力が全て発揮出来たのであれば、西大寺青年会議所を必要とする人が多くなり、協力を仰がれ、まちづくり

を期待される声が聞こえてくるはずですが。しかし、吉井川フェスタが雨で中止になり、ボイススカウトの解団が発表されるなど、このあたりが多少原因して不完全燃焼に終わったように感じています。

次年度は今年の気持ちを飛躍させていくべき点と反省すべき点をしっかりと念頭におき、次に繋げたいと考えております。

本年度の地球市民委員会の皆様、そしてメンバーの皆様と1年間共に頑張れた事に感謝申し上げます。

副理事長 塩崎 鉄司



本年度、地球ふるさと委員会担当副理事長を務めさせて頂きました。

一年間という短い時間の間ではございましたが、三枝委員長をはじめとします委員会

メンバーの皆様には大変お世話になり、また力不足の点多々ありご迷惑おかけしました。

この委員会で時間、内容ともに一番ウエイトを占める

事業としては第38回少年は  
だか祭り

です。この事業が成功する  
か否かは我々5メンバーを  
含め、いろいろな地域団体  
で組織されている「少年は  
だか祭り実行委員会」の連  
携であると思います。総勢  
30名からなる組織を事務  
局担当の当委員会が意見等  
を集約して、祭りをより良  
い方向へ導き安全に開催さ  
せることが理想の形である  
と思います。

大変、難しいことですが、  
その分やりがいのある事業  
であると思いますし、経験  
された委員長は必ず一回り  
も二回りも成長される事と  
思います。

最後に今年、一年間委員  
長・委員会が本当にやりた  
いことを実現させられてあ

げられたのかなと考えてや  
まないこともあり反省する  
ことの多い一年でした。

一年を振り返って

2009年度 社団法人西  
大寺青年会議所

副理事長 井上裕嗣



2009年副理事長を務  
めさせていただきました井  
上です。

一年間、尾田委員長とともに  
親睦研修委員会を担当させ  
ていただきました。

尾田委員長にとっては、本

年が初理事ということにな  
りましたが、個人の副理  
事長としての力量の無さか  
ら、サポートがいまひとつ  
スムーズに行えず、尾田委  
員長をはじめ会員の皆様に  
はいろいろとご迷惑をおか  
けたことと思います。こ  
の場をお借りしてお詫びし  
たいと思います。大変申し  
訳ございませんでした。

ただ、尾田委員長は初年度  
理事としては十分に委員長  
の重責を果たされていたこ  
とと、昨今の当青年会議所  
の会員数減少にともない、  
委員会の運営が例年以上に  
厳しく、実際に尾田委員長  
と二人だけの委員会も多  
く、各事業の運営に支障を  
きたすほどに人手の不足が  
現実問題として深刻であっ  
たこともお伝えしたいと思

います。次年度以降、実際  
に事業を行う委員会のフロ  
アメンバーとして、実働  
可能な人材をどれだけ配属  
できるのか、組織人事面で  
の課題に取り組んでいく必  
要性も痛感致しました。

次年度2010年に社団法  
人西大寺青年会議所は創立  
50周年を迎えることとな  
ります。40周年当時の会  
員数に遠く及ばない人数で  
次年度の運営を行わなけれ  
ばなりません。

今、私たちに本当に必要な  
のは、地域への想いをもつ  
て5運動に参加していただ  
ける新しい仲間を一人でも  
多く増やすことだと切実に  
感じています。

当青年会議所に携わってい  
ただいて地域の皆様、  
そして特別会員の皆様には

新会員獲得のための情報を  
ぜひとも私達社団法人西大  
寺青年会議所にお寄せ頂き  
ますよう、心よりお願い申  
し上げます。

末筆となりましたが、本年  
度新年祝賀会をはじめ、品  
懇親会や家族会など、親睦  
研修委員会の事業にご参加  
ご協力をいただきました全  
ての皆様にご礼を申し上げ  
たいと思います。  
一年間大変ありがとうございました。

### 1年間を振り返って

創立50周年準備室

室長 松本 和生



最終年度となる、今年度は、  
来年50周年を迎えるにあ  
たつての準備にあたる準備室  
の室長の職をいただきました。  
50周年に向けてメンバ  
ーの意識を高められるよう  
に委員会活動を行っていきま  
した。今年がJC最後の年と  
いうことで、気合をいれてス

タートしてつもりが、空回り  
が多くなったように思います。  
副室長である長田君に迷惑  
をかけながらも、なんとか例  
会事業などをこなすことが  
できました。

また、1年間を通じて、50  
周年に向けて先輩方からも  
いろいろと助言をいただいた  
り、講師をお願いしたりと大  
変お世話になりました。50  
周年の実行委員長予定者の  
井上君にいろいろと資料を  
残すことができずに申し訳  
なく思っています。

今年で卒業となります。青  
年会議所は、参加すればす  
るだけ、苦労も多いと思いま  
すが、楽しみや喜びも多い団  
体だと思えます。何事にも積  
極的に参加し、盛り上げてい  
ってもらいたいと思います。  
できないことばかりが多く

大変な12年間でしたが、貴  
重な体験も多くさせていた  
だきました。メンバーの皆さ  
んありがとうございました。

### 1年間を振り返って

地球ふるさと委員会  
委員長 三枝 克守



今年も一年間が終  
わりました。

年初に掲げた「未来を担う  
青少年に郷土への誇りを持  
ってもらおうと共に、地域の方  
と連携を取りながら、活力あ

るまちづくりに貢献する」という基本方針は、第38回少年はだか祭りの開催、わっしょいカーニバルや社会福祉ふれあいの集いを通して、子どもたちに地域の伝統行事を経験してもらったことにより、全うすることができたものと思います。

何年も先になると思いますが、西大寺の事業を経験した子供たちが成長した時、地域のためにと頑張ってくれるものと信じています。

次年度は、いよいよ西大寺青年会議所も50周年の節目の年を迎えます。メンバー全員が心をついに、さらに今年よりも充実した年に行きたいと思っております。

## 一年間を振り返って

地球市民委員会  
委員長 赤木朋央



本年度、石井理事長の下、地球市民委員会の委員長として務めさせて頂きました。一年目の委員長と云うことで、何から手を付ければ良いのか分からず担当副理事長に多々ご相談したように思います。

地球市民委員会の事業として行いました、ブロック野

球大会では、打撃練習・早朝練習・ナイター等練習しましたが一回戦敗退、また吉井川フェスタ（一日海水浴場）では、悪天候の為中止となり、準備はしたけど当日の結果が出ないと言うことで良いことが無かったように思います。

しかし、この一年で委員では気付かなかった事、しなかったことをさせていただき自分自身成長することが出来たと思います。

経験の浅い私がこの一年間委員長として務めることが出来たのは、担当副理事長は本より委員会メンバーのおかげだと思っています。毎回の委員会、事業の準備には全員出席して頂き作業もスムーズに進み、意見交換の場では様々な意見が聞

けたように思います。そう言った意見を取り入れながら、委員会メンバー全員で事業が行えたように思います。

最後に本年度様々な事業をするに当たり、

ご指導、ご協力を頂きました関係者の方々、又青年会議所メンバーには心より御礼申し上げます。今後も地域に求められる団体の一員として頑張りますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

一年を振り返って

創立50周年準備室  
副室長 長田 智宏



本年度、創立50周年準備室の副室長を務めさせていただきました。ありがとうございました。  
年当初、来年にひかえた西大寺青年会議所創立50周年の準備室として、松本室長と共に意気込んでいました。委員会を開いては、目の据わった室長の周年話を聞かせてもらい自分自身まだ経

験したことの無い周年事業が良く理解出来ました。

中盤少しながら冬眠しましたが、6月には全国大会で沖縄へ行き無事冬眠から覚めることができました。

周年の準備が十分にできたかはさておき、来年に向けてのやる気だけは高めることができましたと思っています。

来年は20数名のスタートですが、節目となる創立50周年をメンバー全員でやり遂げ、修練・友情をみんなで分かち合いたいと思います。石理事長をはじめとする協力して下さったメンバーの皆様、一年間ありがとうございました。

総務委員会委員長

中山 稔之



本年度総務委員会の委員長を務めさせていただきました。

何分不慣れな点が多くありましたが、メンバーの皆様のご協力をいただきまして、無事に1年間委員長を務められたことに感謝を申し上げます。

1月のスタート直後は、何をしたらよいのか分からず右往左往しておりましたが、

例会の運営、3JC合同例会の開催、執行部議・役員会の運営等に携わることにより、JCという組織、そして(社)西大寺青年会議所の活動内容を今まで以上に間近に見ることができ、非常に勉強になりました。

単年度制のJCにおいて、毎年毎年が経験の連続で今年もJCに関する数多くのことを経験させていただきました。

次年度以降も、新しい経験をする事によってメンバーの方々と協力し、JC運動に邁進していきたいと思えます。

|   |  |
|---|--|
| 発行日 平成21年12月吉日<br>発行責任者 石井 亮<br>編集責任者 中山 稔之<br>発行所<br>社団法人 西大寺青年会議所 | 行事予定<br>12月9日 例会 卒業式<br>1月13日 例会<br>1月15日 新年祝賀会<br>1月24日 京都会議<br>2月20日 少年はだか祭り |
|---|--|